

令和版「オレンジ計画」がスタートしました



6月中旬にかけて、全校でキバナコスモスの種をまきました。令和版「オレンジ計画」のスタートです。7月後半から8月初め頃、グラウンドを囲むように、一つまた一つと咲き始める様子が目に浮かんで楽しくなります。

初めて東湖小学校でキバナコスモスの種をまいたのは、平成10年のことでした。当時の校長先生であった〇〇〇〇先生が、「神奈川県の上溝（かみみぞ）小学校からいただいた種です」と紹介してくださいました。「オレンジ色の花が咲くらしい」「学校や東湖のまちがオレンジ色でいっぱいになったらすてきかも…」「オレンジ色の花でいっぱいになったら、東湖小のみんなが元気になりそう」と、当時の先生方や子どもたちが話し合って、4年間のオレンジ計画をスタートさせました。

それから25年ほど経ち、時代も令和となりましたが、「『東湖といえば』と胸を張って語れるものをつくることは、心の軸をもつことになる」との思いを強くしています。一粒の種があれば、この先の未来にもつないでいくことができるのではないのでしょうか。

「オレンジ計画」に込めた願い

- キバナコスモスを育てる活動を通して、東湖のよさに気付き、学校や地域への愛着と誇りをもつことができるようにする。
- 花や緑にあふれる学校環境をつくることにより、自然に関心をもち、大切にしようとする気持ちや態度を育てる。
- キバナコスモスを学習材とした豊かな体験活動や総合的な学習の時間を通して、異学年や地域、他校とのつながりをより一層深める。



「玄関前のキバナコスモスコーナー」…先輩の作文や写真などから様々な取組に気付き、今の自分たちにできることを見いだしてほしいと願っています。

令和版「オレンジ計画～オレンジ大作戦～」スタート

6月 全校で種まき

◇学校をぐるりと囲むように、フェンス沿いに、キバナコスモスの種をまきました。
丁寧にまいて、水をたっぷりかけます。花が咲くのが楽しみです。



6月 水かけ

◇お天気を見ながら、水かけをしています。



7月 間引き

◇大きく育てるために、混み合っているところから芽を抜いて、他の場所に植え替えます。



なつ 夏のキバナ仕事 しごと

7月24日、玄関前や駐車場、体育館前を中心に、苗の植え替えをしました。苗は、キバナコスモスの発芽状態を心配した〇〇さんが、くださったものです。

〇〇さんは、平成10年に「オレンジ計画」をスタートさせたときの校務員さんで、今回の種まきのときにも、種を分けていただいていたいました。

梅雨明け後は暑い日が続いていることもあり、午前中は水かけが大切な仕事です。たっぷり水をかけると、キバナコスモスも気持ちよさそうです。





令和版「オレンジ計画」〜オレンジ大作戦〜

キバナコスモスの一番花が
咲きました
(8/7撮影)



9月

◇猛暑の夏。暑さには強いと言われているキバナコスモスですが、連日の暑さで、元気がない様子。心配した子どもたちが、夏休み明け、水かけを頑張っています。



◇集団登校の朝。暑さに負けずに登校する子どもたちを見守るキバナコスモスは、「おうえんキバナ」とでも呼びたくなるような元気なオレンジ色。

◇オレンジ色に混じって、黄色の花を咲かせているキバナコスモスもありますので、ぜひ見つけてみてください。

